

## 最新の絵画を問う記録&批評集 『絵画検討会—記録と考察、はじめの発言』刊行

～総勢 17 名の作家・批評家による最新の絵画論！～

アート専門出版社アートダイバー（本社：東京都中野区、代表：細川英一）は、「現代絵画の可能性」を作家、批評家とともに問う書籍「絵画検討会 2016—記録と考察、はじめの発言」を 3 月 4 日に刊行いたしました。ぜひ、貴媒体にてご紹介くださいますようお願い申し上げます。

▼書籍の紹介サイト <http://artdiver.moo.jp/?p=1873>

### ■書籍の内容

2016 年夏、東京都豊島区の TURNER GALLERY にて、呼びかけ人の高田マルによって企画されたグループ展「絵画検討会 2016」が開催されました。展覧会名にあるとおり、同展は「絵画」をテーマとし、5 人の作家がそれぞれの「絵画」へのアプローチを提示。会期中にはギャラリー内や出品作家のアトリエなどでトークイベントなどが行われ、多くの議論を呼びました。そこには、絵画への根強いニーズ、そして近年再び注目を集めるモダニズムへの関心などが背景にあるのでしょうか。会期終了後も、美術誌へのレビュー掲載や SNS 上における反響などを呼び、結果として、多くの作家、批評家を巻き込みながら展開してきました。

本書は、「絵画検討会 2016」の記録誌の位置づけから、作品図版を豊富に収録（全作品リスト含む）。加えて、作家の発言を収録することにも力を入れていきます。「絵画検討会 2016」では、展覧会のドキュメントを残すという意図から、会期中のトークのみならず、企画段階でのミーティング記録のすべてが文字化され、記録されてきました。本書では、そうした膨大な情報の中から、作家の発言を編み直し、また作家による書き下ろしを加えることで、5 人の作家がどのようなスタンスで「絵画」に取り組んでいるのかを伝えます。

また、寄稿者による論考やトークや対話も読みどころのひとつです。テーマは、「絵画検討会について」「展覧会評」「絵画論」と多様で、現在の絵画を考察する意味でも必読の論考が揃いました。

現代における絵画の意味をいま一度、考え直し、深めていく「はじめての発言」として、広く読んでもらいたい 1 冊です。

## 【本書概要】

タイトル：『絵画検討会 2016－記録と考察、はじめの発言』

呼びかけ人：高田マル

出品作家：TYM344、高田マル、林香苗武、ムカイヤマ達也、本山ゆかり

寄稿ほか：石山律、内田百合香、浦野玄馬、黒瀬陽平、沢山遼、gnck、Taxxaka、

千葉成夫、土屋誠一、都築潤、野田尚稔、平間貴大

カラー／モノクロ、164 ページ（カラー64／モノクロ 100）

掲載図版： 展覧会出品作品、全掲載

製本：ソフトカバー

本体：四六判変

デザイン：小林すみれ

ISBN：978-4-908122-06-4

発行：アートダイバー

定価：本体 1,300 円（+税）

発売： 3月上旬より全国主要書店および WEB 書店にて販売

## ■ 献本／読者プレゼント／取材について

- ・ 記事掲載に際し、資料としての献本、読者プレゼントもご用意が可能です。
- ・ 著者インタビュー、担当編集者への取材も対応いたします。
- ・ 書影、紙面イメージほか、画像のご用意ございます。

下記よりご連絡ください。

## ■ 本件に関するお問い合わせ先

会社名 : 合同会社アートダイバー  
担当者 : 細川英一  
住所 : 〒164-0012 東京都中野区本町 1-2-3  
TEL/FAX : 03-5352-1023  
E-mail : [info@artdiver.moo.jp](mailto:info@artdiver.moo.jp)  
URL : [http:// artdiver.moo.jp](http://artdiver.moo.jp)